

生徒議会会議録（吉田中学校）一般質問追加対応

開催日：2023年2月20日 場所：安芸高田市応接室

○一般質問

下瀬議員

- 1.学校の適正規模について
- 2.小規模校のデメリットについて
- 3.小学校の統合について

○下瀬議員

現在、安芸高田市には8つの小学校があります。その多くは1学年1学級の学校、または複式学級のある学校です。安芸高田市教育委員会は、望ましい学校規模を「1学年複数学級、1学級20名から30名程度」としているが、全学年で複数学級があるのは吉田小学校だけとなっています。この現状について市としてはどのように考えていますか。

○石丸市長

はい。まず、今日ですね。こっちにせっかく勢揃いなので、ちよくちよく助けを求めながらお話をさしていただければと思うのですが。この小学校の統合、結構長くやっているのですよね。どれぐらいから始まったのでしたっけ。

○永井教育長

一番近いところでいうと、平成30年、それから31年という形で、小学校が14校あったのが、今、安芸高田市が、旧で言うと6町ですね。吉田町だけ小学校2校、あとの旧町は各中学校と同じように1校にしようという計画が出て、当初7校にする形で取り組みましたが、結局高宮町だけ現在も統合になった高宮小学校と、川根小学校という形で2校あります。したがって、今8校の形ですが、今あったように、平成23年に小学校の学校をこういう形に統合しますよという計画を市民の皆さんにお示しして、それからさっき言いましたように平成30年、31年、それから令和1年という形で順次統合してきて、現在8校になっています。

○石丸市長

なので、平成23年なので2011年、10年ちょっと前までは14あったのが、今8にまで統合されています。その理由は、ここに書いてくださった、望ましい（学校規模）というのが大きいクラスですね。現状については、ずいぶん改善できたと評価しています。ただ、今話にあった高宮町内においては2つあるのですね。1つは川根小学校なんですけども、それを後1年ちょっとでですね。じゃあ1年かけて統合の準備をして、1年後には1つ高宮小学校を。で、小学校を1つにしようというところまでは進みますので、それなりに、言葉としては抽象的なのですが、それなりにこの望ましい姿に近づいたと、そのように捉えています。

○下瀬議員

では、次の質問に移ります。

現在は、クラス替えもできない小規模の小学校がほとんどです。小規模校にも多くのメリットがある一方、クラス替えがないと人間関係が広がらず、コミュニケーション能力が育ちにくいです。また、学校規模が小さすぎると集団で行うスポーツや文化芸術活動が十分に行えないというデメリットがあると思いますが、そこらへんは人数が少ない

小学校についてどのように考えますか。

○石丸市長 はい、デメリットについては、下瀬君がおっしゃったとおりだと思います。ただ、クラス替えという意味では、実際クラス替えができていた小学校が多くない。吉田小学校ぐらい。

可愛小学校ってクラス替えがあったのですか。

○宮本教育次長 ちょっと前までは。今は完全に1クラスになりました。

○石丸市長 そうですよ。なので、クラス替えができた方がいいという、結構高めの望む姿を叶えるにはなかなか難しいのかなと思います。ただ、少なくとも、あまりにも少ない人数ですとやはり人間関係も固定化しやすい。人付き合いの幅も出にくいと思いますので、やはりデメリットがあるのかな。特にね、この中に書いてくれていますけれども、スポーツとかどうやっても人数がいるものとかありますので、そのあたりでは今の小学生にはですね、ちょっと申し訳ないなという思いです。

○下瀬議員 では、スポーツが行えなくなったりというデメリットが表れてくるのは、具体的に1学級何人ぐらいまで少なくなると出てくると考えていますか。

○石丸市長 なるほど。何か具体的な数字があったりするのでしょうか。私も知りませんね。

○永井教育長 国とか県が、今の質問に対する具体的な人数とかを示しているのは私の今段階の把握ではありません。ただし、国が、小学校の適正な規模、学級数で言っているのはですね、14学級から18学級あるのが適正な規模ですよと国が示しているのです。それで言うと、吉田小学校もそれでは当てはまらない学校の規模になってきています。

○石丸市長 14学級というのはどういう計算なのですか。

○永井教育長 1つ1つの学級を足して行って、14学級という計算。

○石丸市長 1年生から6年生まで大体2クラスずつあれば12クラスなので、時々3クラスがあるということですね。

○永井教育長 はい。そういう数は、学級数はこのくらいが適切ですよ。中学校もそうなのですよ。もっと言えば、通学距離も示しているのです。小学校は4km以内が適切ですよ、中学校は6km以内が適切ですよ。ただし、質問をいただいた、クラブとかが行えるための適切な学級数とか人数とかいうのは私のこれまでの記憶では示されたものではありません。

○石丸市長 なるほど。逆に私から確認をしてみるのですけれども、複式学級になる水準というのがあったりするのですか。複式学級って聞いたことがありますか。

○下瀬議員 2学年が一緒になるやつ。

○石丸市長 はいそうです。6年生と5年生が一緒になるやつ。あれって、何人ぐらいから。

○永井教育長 これは、小学校の低学年、それから中学年高学年はちょっと人数が違うのです。低学年の1、2年生は8人以下になると、複式にしますよと。しかし中学年から高学年は、17人を切ると複式にしますよと、国の決まりがあって、なんでそうしないといけないかという、国が配置してくれる先生の数が減らされるのです。したがって、どうしてもそれは守らないと、担任の先生が居ないとかいう状況も出てくるということで、今、安芸高田市では、これは、みなさんもお存じのことだと思います。先ほど、市長が答えられたよ

うに、川根小学校が全校で10人を切っていますから、完全複式と言うのですが、1、2年、3、4年、5、6年の複式3学級の学校に今なっているということです。

○石丸市長 なるほど。そうすると、小学校の制度の都合からして、1学年というか、1クラスが9だったり、17人を割ると学年を合わせないといけない（複式学級）というふうになってしまうので、まあそれぐらいはいた方がいいだろうなというのは1つ目安としてあるかと思います。あとは、どうなのでしょう。逆に、下瀬君に訊ねてみたいのですが。何人ぐらいのクラスだったらオッケーな気がしますか。感覚として、自分の。

○下瀬議員 やはり1クラスが、1学年というのですか、15ぐらいですかね。

○石丸市長 それは何か理由があったりしますか。

○下瀬議員 例えば、サッカーをやりますとなったときに、サッカーって小学校のときに聞いた話なのですが、小学校のサッカーって7人とか8人ぐらいで、11人使わない場合もあると聞いたので、7人ずつだったら対戦できる体制ができるし、野球となるとちょっと厳しいかなと思うのですが、ティーボールとかのような形にすればピッチャー、キャッチャーを減らせますし、そしたらちょうど7人でやれば、やはり14、15人ですかねという感じが一番ギリギリかなという感じが。

○石丸市長 なるほど。集団のスポーツをやる面でそれぐらいは同級生がいた方がいいのではないかという感じですかね。

○下瀬議員 そうです。

○石丸市長 なるほど、確かに言われてみると私もそんな気がしてきました。ごめんなさい、質問を私が返してしまったのですが。というのが私の思いです。我々としても、やっぱり10人台できれば20人ぐらい、1クラスにいた方がいいのだろうなという思いです。

○下瀬議員 次の質問に移ります。現在、市内の中学校の統合が検討されていますが、小学校も適正規模とするために、2校または3校にするのがよいと考えるが、どのように考えていますか。

○石丸市長 そうですね。非常に難しい質問だなと感じています。いろんな視点があると思います。今お話に出ていたクラスの大きさという観点では、もっと集めた方がいいのだと思います。それこそこれからまだまだこの町、少子化が進むので、複式学級になっていく学校、たぶん出ると思います。ただ、この統合をですね、やるためにはいろいろ大変なのです。一言で言うとコストが掛かる。お金だけではないです。お金ももちろん掛かるのですけれども、いろんな調整が必要になってきます。なので、人数が少ないのだから合わせればいいじゃん、とすぐに実行が出来ないというのが現状です。例えば、さっき話に出ていましたけど、通う方法とか。皆さんは吉田小学校だったかな。

○下瀬議員 ここと、愛郷。

○石丸市長 皆さん歩いて通っていましたか。

○松井さん バスでした。

○石丸市長 バスね。吉田は歩いていましたか。

○下瀬議員 自分は歩いていましたけど、バスの子もいました。

○石丸市長 なので、統合するとバスがどうしても増えるのですよ。バスの路線があるところだっ

たらいいのですが、いろんな場所が市内にはあるので。となると、スクールバスなのかというのであれば、それは主にお金の問題なのですが新しく工面をしないとけないものが結構あります。その意味では、わかってはいるのだけどなかなか実行できないというのが現状です。

○下瀬議員　　すでにもういろんな小学校で10人を、1学年が切っている、美土里小学校であったり、川根小学校であったりというのはそういうクラスが多くて、1学級に20人もいないような状態なのです。そういうような学校だけでも人数を増やせる、じゃないですけど、統合しなくても週に1回2校で集まって、大きいスポーツをやるとかできないのでしょうか。

○石丸市長　　なるほど。できないのでしょうか。教育委員会としてどうでしょうか。

○永井教育長　　現在も、例えば具体的に言いますと、川根小学校と高宮小学校は集合学習という言い方をしていますが、今、下瀬さんが言ってくださったように、一緒になって、教科の勉強ももちろんそうですが、体育の授業というのは、やるようにしています。ただ、じゃあ他の学校へ、さっき具体的に美土里小学校と言ってくれましたが、美土里小学校あたりが、まだ具体的にそういう取り組みをするまでには至っていません。けどやっぱり、今あったように、今後においては、学校統合というのはかなりいろんなことがあって、ハードルが高いですから、まずそこに行く前に、今、安芸高田市で呼んでいる言い方で言うと、集合学習というような形で2つの学校で何か行事をやるとか、体育の、一定の人数の必要なような授業をやるとかというようなことが必要になってくると思います。

○下瀬議員　　今、吉田小学校の1年生が(1クラス)20人と20人でジャスト40人ぐらい。そうなってくると、中学校は統合に向けて、2校なり3校なり1校なりまだわからないですけど、どの道複数になるじゃないですか。そうなったときに、中学校に上がったときに、(小学校の同級生)9人だったのが(中学校の同級生)200人とかに一気に増えるわけです。そうすると、いろんな人と、今は他の学校とかとの交流が少ないと感じるので、もっとそういうところをやっていった方がよいのではないかと思います。

○石丸市長　　なるほど、私は、おっしゃる通りかなと思うのですが、教育委員会の見解を聞いてみましょう。

○永井教育長　　さっき言いましたように、いろんな形で出来るのがいいのだと思うのですが、なかなか距離の問題とか、授業を年間何時間やらなければいけないとか決まりがある中で、学校の先生方、子どもたちも苦労してくれているのですが。例えば、行事あたりでいくとですね、小学校で言うと「山・海・島体験学習」ということで、宿泊の活動をするようになっております。それは、旧町ですね、吉田町と一緒にですとかあるいは高宮町と一緒に、向原町は1校ですね。美土里、高宮あたりはさっきから言ってもらっているように、人数が少ないですから、町を超えて美土里と高宮を合同でやるとか、あるいは修学旅行あたりも中学校になったら一緒になるのだからということで、合同の修学旅行をやるとかという工夫を今現在はやっています。けど、今後は、これも下瀬さんが言われたようにもっといろんな方法で工夫してやるべきだなとは思っています。

○米村副市長　　提案してもいいですか。今、せっかく皆さんタブレットを1人1台持っていますよね。

それを使って授業を一緒にするとか。小学校には大きいスクリーンがあるのですよ。Webで一緒になって授業をするとか、なかなか一緒には直接出来ないんで、あまりコミュニケーションできないかなとは思いますが、違う学校の生徒と一緒に、20人、20人で、40人でやればできるから、あれならあまり沢山お金がかからんから。移動しなくてもいいし。時間の無駄がないので、そういうのもちょっと考えてみても面白いのかなと。せっかくタブレットを皆持っているでしょ。あれを活用すれば。

○石丸市長 たしかに、GIGA スクールになったのですから。中学校はやがて統合されるので、それに向けて、今の小学校のままであれば、急にこの大きなところに進む。ここにちょっと難しさが生まれるかもしれないので、事前にコミュニケーションを取ってというのは次善の策。次善の策というのは2番目にいいという意味なのですが、そういう対応のしかたもあるのかなと思います。やはりなによりも、下瀬君が言ってくれたように、私は、小学校もやがて統合するべきだと思います。統合というのは、ちょうどいいタイミングというものがあるのですね。例えば、校舎の建て替えが必要なとき。今、7校になるのですけど小学校が。どれかの小学校がもう限界ですと、建て替えないといけません、となったときにいくらか新しく建て替える、それをやっていると全部建て替えないといけませんのでは、となる。そんなお金もなかなか出せないんで、だったらもう大きな1校にしましょうというのは話を持ち出しやすいので、そういうタイミングが小学校統合のいいタイミングなのかなと思います。

○下瀬議員 その小学校が限界を迎える、建て替えの時期というのは具体的に何年後ぐらいなのか。
○石丸市長 一番近いので、古いのはどこですかね。吉田小学校が結構古い気がしますよ。愛郷小学校は新しい。

○永井教育長 吉田も大規模改修をやったのです。安芸高田市の小学校は、いわゆる地震だけで例えて言うと、耐震化工事というのがあるのですが、全部クリアしています。地震では、国の基準では大丈夫というところまでやっているのです。もしかしたら、旧郷野小学校区の出身ですか。郷野小学校は木造のいい校舎なのですが、耐震化が掛かったということなのです。さっき市長が言われたように、そういうタイミングが統合しましょうということで。旧可愛小学校を愛郷小学校という名前に変えて、郷野と可愛が一緒になったというところですよ。

○宮本教育次長 一番古いのは、建てて古いのは、さっき吉田小学校の話が出たのですが、建てた自体で古いのは吉田小学校が昭和38年3月。その代わりさっきも言ったのですが、随分変わったので、そこは置いておくと次は昭和40年代に建ったところが若干あるのですが、というくらいで大体改修しています。

○石丸市長 耐震はもちろんしてあるのですが、昭和30年、40年というのは1960年代とかなので、もう60年経つのか。60年過ぎるくらいなのです。そうすると、耐震構造上直してあっても、そもそも躯体というのですけれども、コンクリートの設計上限界がくるのですよね。その意味ではそんな遠くないうちに。どうなのですかねえ。雨漏りするとか。

○宮本教育次長 延命長寿命化という事業があって、それができる建物としにくい建物が実はあります。学校でも、屋根を見てもらったら、瓦葺の屋根の学校は、そこから下に水が入らない

ので大丈夫なのですが、陸屋根って平らな屋根の学校があるじゃないですか。これらは、やはり水が入りやすいのです。瓦って段々になっていて流れていくのだけれど、平らなところ（陸屋根）はシートを張ってあるのです、コンクリートの上に。この、シートというものは、家でも床とかなんか浮いたりすることあるじゃないですか。そんな感じでそこから水が入ったりするのですね。その分耐久力が落ちます。それをこまめに直せばもちろんいいのですが、その都度ではなく何かのときに一遍にしようということがあるので、どうしてもコンクリート自体が劣化、品質が悪くなっているところがあって、そういうところは見た目よりも早く直す必要はあります。

○石丸市長 さっき（建て替え時期は）いつぐらいかという質問があったのですが、まあもう60年、70年経っているのを考えると、あと20年持つかと考えると厳しいのではないかと。

○宮本教育次長 一般的には60年から70年なので。

○石丸市長 ちょうどもう建て替えの時期に来ているのですよ。吉田小学校をはじめ大体。なので、実はちょうどいいタイミングというのがそろそろなのかなとは思っています。一方で、これがですね何ともしがたい難しさなのですが、地域の人は物凄く反対されるのですよね。なんとなくわかりますか。

○下瀬さん 川根小学校って、愛郷小学校、甲田小学校と八千代小学校が1校になるときに（川根小学校も統合の）案になっていたのを見たのですが、それが残っているということは説得しきれなかったのだらうなど。それだけ小学校というのは大事だと、望ましい学校規模のことを調べると、そこにも地域の活力が失われるという、そこは慎重にと書いてあったので、やはりそこは大切な。

○石丸市長 下瀬君とか3人はどう思います。自分の小学校はやっぱりなくなると寂しいですか。地域の活力が失われると大人の人をよくいうのですよ。そうでもない。言っていることはわかる。気持ちはわからんではない。

○山内さん わからないことはないけど。たぶん、自分自身とすれば可愛小学校出身で郷野小学校と一緒にあったりしたときに、（在学が）2年でそこまで愛郷小というのに思い入れはないのですよ。だから、今愛郷小が無くなると言われてもそこまで感じないかな。

○石丸市長 吉田小学校はどうですか。

○下瀬議員 自分は、自画像を描いてきたし、百万一心劇をやってきたしで、残せるならそういうのは。やはりじゃあ9人とか、1クラスがそんなになってまで残すかって言われたら、他にもっと学ぶべきことがありますから。わざわざそこにこだわり続ける必要は。

○石丸市長 皆さんのような方ばかりだったら話がすごくスムーズなのですね。そこにばかりこだわる人が意外といらっしゃいます。下瀬君が図らずも言ってくれたポイントがすごく大事で、実は自画像とか一心劇って新しい小学校でもやればいと思いませんか？

○下瀬議員 やっぱなんかあるじゃないですか。新しく一緒になってこの人から教えてもらうのと、ここをやったこの人から教えてもらう。一緒になったこっちから教えてもらう。

○石丸市長 それはちょっと抵抗がありますね。でも、例えば、可愛小学校と郷野小学校の僕の同級生がいたのです。でも今は無いじゃないですか、愛郷小になっていて。で、一緒になった

ときに多分それぞれのいいところは取り入れたと思うのですよ。残したのではないかなと思うのですよ。それって、別に悪い話じゃない気がします。今更自画像描けてって言われたらちょっとあれかもしれないけどね。新しい学校になってその中の1つに吉田小学校から昔から卒業するときに自画像をやっていました、皆で描きませんかと言われたら、別に高宮の人でも郷野の人でもまあそういうものかなと思って、できなくはないのかなと思います。ただ、なんだろうな。吉田小学校にするわけではないので。新しい小学校にいろんなところのいいところ、大事なものを詰め込めば、むしろそれによって残せるのではないかなと。単純に吉田小学校といえども、今のまんまだったらやがて無くなりますよ、維持できなくなって。要はここに人が住めなくなっちゃうので。であれば、私は形が変わっても、まだこれから先残せる道を選んだ方がいいかなと、そんな気がします。後はどうですか。

○下瀬議員

いや、もう。

○永井教育長

やはり地域と密着度が高いのは小学校なのですよね。次に高いのは中学校、次が高等学校というふうに、年齢が低いほど地域とともに歩む学校という言葉があるのですが、地域との関係性が深い、逆に地域の方もだから小学校が地元から無くなって、子どもたちの元気な声が聞こえないようになるのは寂しいとかですね。そこに地域の思いがあって、なかなか説得しようとしたのですが、どこの地域も同じように地域の皆さんの学校に対する思いが深いので、本当にジレンマと言うか、そこは悩みながら、最終的にでも子どもたちのために、子どもたちは未来を生きていかなければいけないのでということをお願いしてきたということです。

○石丸市長

両脇のお2人から何か質問はありますか。

○松井さん

私は大丈夫です。

○石丸市長

気になったこととかあったら。こうすればいいじゃないとか。

○山内さん

大丈夫です。

○石丸市長

じゃあ一旦この一般質問は終了ということでよろしいですか。